

環境にやさしいまちづくりは市民とともに 日本一さわやかなまちをめざして



大阪狭山市
マスコットキャラクター
「さやりん」

大阪狭山市は、『古事記』や『日本書紀』にも登場する現存する日本最古のため池「狭山池」を市の中心に抱く、水と緑豊かな田園都市です。「狭山池」には、市の木である桜並木が続き、長く市民の憩いの場として愛されてきました。しかし、大量生産・大量消費の社会経済が進んだ結果、地球規模での温暖化が急速に進行している中、市としても率先してこうした問題に取り組み、温暖化防止対策に努めなければいけないと考えています。

本市は、環境に対する市民の意識が非常に高いまちであり、市民主体の清掃活動である「狭山池クリーンアクション」が環境大臣や国土交通大臣から表彰されるなど、環境への取り組みが自発的に進んでいます。さらに、市職員有志による清掃活動も定期的に行われ、大阪狭山市がひとつになって、環境問題に向き合っています。これからも市民と行政が協力し合い、「狭山池」を中心とした環境に配慮したまちづくりを積極的に推進していきたいと考えています。

大阪府大阪狭山市

「狭山池」が環境活動のけん引役にもなっているそうです

本市のシンボルともいえる「狭山池」ですが、2015年3月に国の史跡に指定され、2016年には築造から1400年の節目を迎えます。春になると周囲の桜が花を開き、「桜まつり」や、本市最大のイベント「狭山池まつり」が毎年盛大に催されています。歴史ある「狭山池」がさらに100年、200年と歴史を紡いでいけるよう、市民の皆様と一致協力して環境を保全し、かけがえのない財産を未来に引き継いでいきたいと考えています。

自然環境の保護・保全を市民協働で実践されています

本市は、市民活動がとても活発で、それが大きな自慢となっています。市民がとても元気なまちとして、「狭山池まつり」も、市民主導のイベントで大いに盛り上がっています。これが環境活動にもつながっており、「自然環境の保護は市民協働で」の掛け声とともに、さまざまな環境保全活動が市民主体で行われています。自分たちのまちは自分たちできれいにするという思いが浸透しているのかもしれない。市民の環境への思いや意識が高いまちであると自負しています。

市としてエコアクション21を取得されていますね

環境の問題は、私ども行政だけが取り組んだところで、すぐに解決できる問題ではありません。環境負荷軽減に向けては、指導や規制といった行政としての役割はもちろんですが、一事業者として地域のリーダーシップを発揮し、率先垂範が必要と考え、エコアクション21を導入しました。これからも市民や事業者の皆様にも範を示しながら、ともに手を携えて取り組む姿勢が大切と考えています。そのためにもエコアクション21認証・取得は、本市にとって重要な取り組みです。

円卓会議からユニークなアイデアが生まれていると伺いました

本市では、市民の皆様とさまざまな活動を進めていますが、その特徴的な活動に、「まちづくり円卓会議」があります。これは、地域内の自治会や住宅会、NPO、市民活動団体、事業者などが中学校区を単位として自主的に一堂に会し、まちづくりについて話し合う場として創設した制度です。「地域のことは地域で考え、実践する」を軸に、「花いっぱい運動」や「河川のクリーンアップ」、「菜の花プロジェクト」といったユニークな環境活動が生まれてきました。大阪狭山市らしい取り組みとして、これからも続けていきたいです。



大阪狭山市のあらまし

面積：11.92 平方キロメートル(東西 2.4km、南北 7.0km)
人口：57,766 人(男 27,495 人、女 30,271 人)
世帯：24,520 世帯
特産品：大野ぶどう

エコアクション21を活かした取り組み

電気自動車の普及促進

化石燃料の使用量を減らす取り組みとして、公用車に電気自動車を3台導入。さらに、電気自動車普及の足がかりとして、市役所敷地内に「急速充電ステーション」を設置し、電気自動車を利用される市民の皆様にも広く活用いただいています。



この電力は、庁舎の照明や空調などと併せて、庁舎屋上に設置した太陽光発電によってまかなっています。

未来の担い手に環境教育



市としてエコアクション21を取得している利点を活かして、市立小・中学校での環境教育に力を入れています。

エコアクション 21 の考え方・しくみを水平展開

環境意識を水平展開

各部署での事務・事業遂行の際に、環境配慮の視野に立った企画立案に努めるようになりました。

マネジメントシステムを水平展開

評価手法を内部統制事務にも取り入れて実践しています。

エコアクション21を広めるために

近隣市町や地域事務局とも協力して普及セミナー(イニシアティブプログラム)を実施しています。

参加事業者数の目標を3社/年に設定、周知活動に取り組んでいます。

参加を促すために省エネ、節電、環境経営などのテーマを織り交ぜています。

**普及
セミナー**

生産性の向上や目標管理の徹底など、経営的なメリットを説明しています。

取り組みを始めようとする事業者が出てきました!

課題とこれからの取り組み

市内事業者への普及拡大に向けて

エコアクション21導入のメリットや魅力(目標管理手法を経営に活かせる・環境への配慮・省エネによる経費節減・環境報告レポート作成による取引先への信頼性の向上・ISO14001に比べて安価など)をしっかりと伝えて、市内事業者の取得促進を図っていきたく考えています。